

2024年度 第5回 藤沢市立湘南台小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年2月7日(水) 15時00分から
場 所 湘南台小学校 支援ルーム

出席委員	川口 昇（会長 湘南台地区地域協力者会議会長） 天野 和美（副会長 湘南台小学校校長） 伊藤 雅浩（湘南台市民センター長） 落合 英雄（湘南台地区青少年育成協力会） 河合 恒二（湘南台地区老人会会長） 栗原 千束（湘南台地区主任児童委員） 千葉 好治（長後・富士見台・湘南台小学校区スクールガードリーダー） 山田 知代（多摩大学 グローバルスタディーズ学部准教授） 寺西美和（湘南台小学校教頭） 以上 9名（欠席3名）
次第	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議題 （1）学校評価について （2）その他 4. その他 来年度会議予定について 5. 閉会
協議内容	（意見等） ＊3（1）について ～各学年・各教室担当より今年度の振り返り～ 国際今年度は26名が指導を受けている。国語の指導を中心に、やさしい日本語や視覚支援を用いながら指導。特に初期指導は興味関心につながる教材の工夫が大切。学生ボランティアなど、地域の方々の協力によって成り立っている。 湘南台学級社会福祉協議会主催のイベントに参加させていただき、中学生や地域の方と交流した。畑での生産活動においても地域の方にご指導いただくなど、児童に関わっていただいた。 1年多くの人に見守られ、できることが増えてきた。友だちとの関わりも増えてきており、今後はその関わりの中で学んでいってほしい。 2年友だち（人との関わり）を大切にするをいちばんの目標としてきた。 3年コロナ禍による経験不足を補うための取り組み。昔の湘南台について地域の方を講師として迎え、教えていただいた。教えていただいたことをまとめ、フェスティバルで発表した。 4年ルール規則を守ること、自分も友達を大切にするを目標に、1年間取り組んだ。学習の連続性を意識した取り組みも。高学年に向けて協調して取り組む力の育成を心がけている。 5年多様なルーツ、特性がある学年。コロナ禍を経て、様々な行事が戻ってきたことにより、初めて経験することが多数を占める。実体験の良さ、そのことによる児童の成長を感じている。学年担当全員での見守り、指導を心がけている。 6年男女仲良い学年。楽しいことは好きだが、自主性はもう一歩足りない。学校行事を通して、様々な場面で活躍することにより、少しずつ自主的な取り組みが見られるようになり、最高学年としての自覚を感じられるようになった。 ・外国につながるの児童生徒の日本語力向上に関わる課題。生活言語の向上に、地域が関わることはできないか。（中学校でも同課題が挙げられている）

協議内容	～学校運営協議会 今年度の振り返り・学校づくりアンケートについて～ ・学校づくりアンケートの結果について保護者やPTA と話しはしないのか。どうしてそういう回答になったのか知りたい気持ちもある。 ・回答の方法をオンラインに変えたのであれば、全校を対象にするのも一つの方法では。 ・アンケートの設問の見直し、工夫が必要なのではないか。 ・アンケート結果はどのように周知、活用をしているか。 →学校だよりで周知を行う。次年度以降の学校運営方針に活かす。 *今回をもって今年度の協議は終了
------	--